

親子で発見！親子で体験！ ジオパークフェア in アルヴェ

男鹿半島・大瀧、湯沢、八峰白神が大集合！県内各地のジオパークの魅力を紹介します。
体験工作コーナー、特産品販売コーナー、豪華景品が当たるクイズ大会など大人から子供まで楽しめるイベントですよ！！

大地のひみつ展
親子で発見！親子で体験！
ジオパークフェア in アルヴェ
入場無料

平成24年
日時：9月16日(日) 午前10時～午後4時
会場：アルヴェ 1階きらめき広場
ドキドキ、ワクワクがいっぱいのジオパークの世界
「大地のひみつ」を、ぜひ親子で発見！体験！してください。

火山実験もあるよ！

「缶バッジづくり」や「なまはげの髪掛け」など
体験・工作ブース
09:30～12:00・14:00～17:00
※有料、人数制限あり

男鹿水族館がアルヴェにやってくる！
おでかけ水族館ブース
日本は「大地のひみつ」であふれていた！
全国のジオパークの紹介

クイズに答えて賞品をゲット！
ジオクイズ大会
男鹿温泉郷ペア宿泊券
男鹿水族館GAO入館券など豪華景品が当たる！

主催：秋田地域振興局
共催：男鹿半島・大瀧ジオパーク推進協議会、八峰白神ジオパーク推進協議会、湯沢市ジオパーク推進協議会、男鹿温泉郷協議会
協力：山本地域振興局、雄勝地域振興局
【お問い合わせ】秋田地域振興局 地域企画課 TEL:018-860-3313 FAX:018-860-3860



オニシバ

ハマペンケイソウ

ハマハコベ

写真1

似ている風景、チゴキ崎と出来た頃の白神山地

現在の白神山地はかつて深い海底にありました。今から900～600万年前ころ海面上に顔をだしたのですが、その様子を見た人は誰もいません。おそらくチゴキ崎の先端の様子に似ていたものと思われまます。現在のチゴキ崎を作っている岩石は、海底火山から噴出した溶岩や火山灰でできています（写真2）。さらにそれらの岩石で出来ている地層に弱い部分が出来ると、そこをめぐって新しい溶岩が割り込んできています。その数は1つ2つではなく、何10本も出来ているのです。しかし、そこには陸上に生えているどんな小さな植物も生えていません。

冒険心の強いハマハコベ

一般に植物が元気に生長するには「土」が必要です。ところがチゴキ崎にはこの「土」が全く無いのです。ということは、白神山地がはじめて海面に顔を出したときも「土」は全く無かったことでしょう。それなのに現在の白神山地はブナを中心いろいろな植物が生え、大きな森をつくっています。一体どうしたわけでしょう？

写真1をよく見ると、ハマハコベは自分たちどうして「かたまり」を作っています。これを「群落」といいます。群落の周りは小石が敷きつめられていてそこには他の植物はほとんど生えていません。夏の日照りの強いある日、ハマハコベの群落で中心部の地面の温度をはかってみました。26℃ありました。今度は群落の外で地面の温度をはかってみました。なんと52℃あるのです。地面の温度が52℃もあると1本のハマハコベではとても耐えきれぬものではありません。ハマハコベ

は仲間が寄り添って群落を作ることによって地面の温度が上がらないように工夫しているのです。

次第に集まりだすいろいろな植物たち

一旦ハマハコベが生え出すと根元に泥などがたまり、わずかですが植物たち待望の「土」が作り出されます。その土をたよりにオニシバなどの植物が生え、新しく土を作るので、土の量はさらに増えます。するとグミなどの低木が生えはじめ、つづいてカンワヤナラ、そしてブナなどの中・高木が生い茂り、ついには大きな森が出来上がります。

ハマハコベの群落が作られているこの石だらけの海岸に、もしブナを植樹するとどうなるでしょう？まず間違いなくブナは枯れ死んでしまうでしょう。つまり、白神山地を覆っている広大な森林は、ハマハコベをはじめた皆さんの植物が努力し土作りをしてきた結果できあがったものと考えることが出来ます。



写真2 チゴキ崎先端の岩場

八峰白神ジオパーク推進協議会

〒018-2612

秋田県山本郡八峰町八森字ノケソリ116

TEL 0185-78-2427

会長 工藤英美

旧岩館小学校内